

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム悠里の郷

作成日 令和 5 年 1 月 25 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6・7	身体拘束廃止・虐待防止に関しては、施設全体として周知徹底し、日頃から職員間でも対応を振り返り・確認しているところだが、それでも時折、入所者様に対する不用意な言動が見聞きされる事が有る。	身体拘束ゼロは当然の事として、あらゆる虐待の兆候に関しても互いに見逃さないケアを実践していく。	全ての職員が、身体拘束廃止・虐待防止の理念を理解した上で共有するほか、不用意な言動をはじめとする虐待の兆候が見られた場合には互いに意見を交換し、“小さな芽”のうちに摘み取る。	令和 5年度
2	2・49	令和2年初めの新型コロナウイルス感染症流行以降、丸3年間にわたり、自由な外出制限をお願いし、来所受け入れも、訪問診療や理容サービス等の必要最小限度に止めており、地域との関係が希薄になっている。	国・県等から行動制限に関する通知が無い現状において、新型コロナウイルス感染症は、最早、日常に在るものと認識し、“withコロナ”を掲げながら、地域との交流が少しずつでも再開出来るように努める。	地域の感染状況を窺いながら、流行が落ち着いている時期には、入所者様や家族様からの外出・外泊希望、各種訪問団体からの受け入れ申し出等に、柔軟に対応する。	令和 5年度
3	4・35	あらゆる自然災害に備えるように努めてはいるが、山沿いの地盤が良い地域に立地している事も有り、年2回の総合防災訓練も、地震による火災発生を想定した初期消火・屋外避難訓練等のみに留まっている現状。	あらゆる災害を想定して、災害対応マニュアルを見直し、防災訓練内容にも取り入れる。	近隣からの延焼や土砂災害等、これまで無かった災害に関しても想定して、災害対応マニュアルを見直し、防災訓練にも取り入れるほか、日頃からの話題として、職員間や入所者様との会話の中で対応を確認しておく。 また、新型コロナウイルスの流行が終息した際は、近隣住民の方々に対しても、悠里の郷の防災訓練への参加を求めたい。	令和 5年度
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。